



# ジョイフル

VOL.19  
2020.10.9 発行



## 営業部 部長 森瀬 隆徳

森瀬隆徳さんは1984年(昭和59年)に、南星キャリアックス株式会社(前身である南星急送株式会社)入社しました。勤続35年以上のベテラン社員は長きにわたる勤務の中で、どのような苦勞を乗り越え、どんな学びを得てきたのでしょうか。

### 若い頃の失敗談はありますか。

大学を卒業して初めて入社したのが事務機器の販売会社でしたが、3か月ほどで辞めてしまいました。甘ちゃんだったんですね。そこでは120名ほどの新卒たちと、社会人としてのいろはを2週間の研修で叩き込まれました。そして同じ営業所へ配属されたのは3名です。仕事は飛び込み営業で、先輩社員の営業車に乗せられ、降ろされた地域で各自が営業をかける。時間になると迎えが来て営業所へ戻るといふ毎日でした。飛び込みエリア内にバスや電車を使って行かされることもありましたが、交通費は貰えません。「今は自分への投資のとき。会社に貢献してから

胸を張って請求しなさい」というのが当時のその会社の所長の言葉でした。飛び込み営業を長く続けられる自信もなく、辞めるなら新卒に近いうちに5月末で退職することを決めました。最後の1週間を有給扱いにして就職活動にあてようと思ひ、有給を申し出たところ、「5月末まできっちり出勤することが、何の貢献もしていない今の君の義務だ」とやはりその当時の所長に言われました。その時から「権利と義務」は、社会人生活を送る上で私の忘れられない言葉となりました。

2社目は共済組合の事務職員になりましたが、欠員が出て集金業務を任せられました。営業にも出向きません。半田から名古屋へ勤務地異動後は、ほとんど外回りになりました。ここにも将来的に不安を感じ、3年で辞めてしまいました。飛び込み営業という仕事に自信が持てなかったのです。結果的に私としては、仕事選びを甘く考えていたせいで社会人生活のスタートは失敗となりました。ちなみに2社とも今も立派な会社として成長しています。

### 南星キャリアックスへ転職した経緯を教えてください。

次は絶対、営業のない会社を選びたいと決めていました。事務員募集というところもあり、自宅に近いため、運送会社なら営業はないだろうと考えました。それが何の因果か、今は営業担当部長です。しかし、お客様とコミュニケーションを取ることが好きですし、飛び込み営業が主ではないので、営業といつても苦になることはありません。逆に今は楽しんでます。

入社当初は事務員のはずが、トラックで配送をする日々が続きまして。ですが1989年(平成元年)、当時、本社営業所の所長であった野



1998年ドライバーコンテストにて司会を務める森瀬さん

村さんから、「営業部を作る」ということで呼んでいただき、それ以降はずっとジョイックスをはさみ営業部に所属しています。

### 辛かったことはありますか。

実はこの会社で2回、辞めると言うことがあります。最初は1987年(昭和62年)、転勤先の小牧営業所勤務の時です。家に帰れない日もあり、休む暇もない日々でした。この時ばかりは両親が心配のあまり「辞めろ」と言ったほどです。「名古屋に戻してもらえないなら辞める」と申し出ました。その時、呼び戻してくれたのが野村さんです。人徳も男気もあつて、面倒見が良い方です。たとえ反発しても、正面切つて意見をぶつければ答えを返し、一緒に汗を流してくれるような人でした。本当に私の人生を導いてくださった恩師です。7年前に病気で他界された時は、とても残念で辛かったです。葬儀では弔辞を読ませていただき、生前言えなかったお礼を言えたような気がします。命日には毎年、ご自宅に伺つて仏壇

に手を合わせてもらっています。

2回目は南星のグループ会社のジョイックス時代です。上役との些細な行き違いから、辞めると言いました。その時も助け舟を出してくれたのは野村さんです。そして営業部へ戻り、2人で知立営業所の立ち上げを計画したのはその頃です。土地探しから始まり、ひとつの営業所を開設するといふプレッシャーを感じる中、心に熱いものを持つていた日々は南星における私の最高の時間でした。最終的に私は、知立営業所の陸運局への営業所届出申請まで行いました。今は、野村さんと立ち上げた知立営業所の現在の発展を喜ばしく、嬉しく思っています。

### 今後の目標を教えてください。

若い人たちに、私の経験を伝えたいと思つています。辞めたくなることもあるでしょうが、止まない雨はありません。明けない夜はありません。私は前の会社を簡単に辞めてしまいましたが、踏ん張つて頑張つて勤め続け

た人たちは、後には部長や所長になっています。そう、最初の会社の所長と同期です。「我慢も必要だ」と教えてもらいました。2か月半しかいなかつた会社も、私の人生にとっては大事な経験となつています。振り返つて気づくことができれば、そこに意味はありますし、成長にもつながるはずですよ。私自身、すべての出来事が今の自分を形づくつていふと実感しています。大した事は言えませんが、聞いてくれるならありがたく思います。

今の若い人も、本当に良く頑張つています。沢山の経験を積み、「ありがとう」と言える人、言われる人になつてほしいです。そして感謝と笑顔をお忘れなくください。一人ひとりが南星の発展とともに成長してくれたならとても嬉しいです。

最後に、私と飲みに行きたい人はご連絡を!

数々の苦勞を糧にしなが、自らを成長させてきた森瀬さん。受け継いできた教えを若い世代へと還元しながら、これからも南星キャリアックスを牽引していくでしょう。